

**製品名: RPS8 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87774**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:500, FC 1:100-1:200, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:24 kDa; Observed MW:24 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPS8
別名	S8
遺伝子 ID	6202
SwissProt ID	P62241
免疫原	ヒト RPS8 の組み換えタンパク質

**背景**

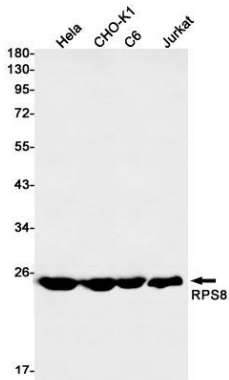
リボソームは、タンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。

す。これらのサブユニットは合わせて4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、40Sサブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質のS8Eファミリーに属し、細胞質に局在しています。大腸腫瘍および大腸ポリープでは、対応する正常大腸粘膜と比較して、この遺伝子の発現が亢進していることが観察されています。この遺伝子は、それぞれ4番目、5番目、1番目、2番目のイントロンに位置する小さな核小体RNA遺伝子U38A、U38B、U39、およびU40と共転写されます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的であるように、この遺伝子の複数の処理された擬遺伝子がゲノム中に散在しています。[RefSeq提供、2008年7月]

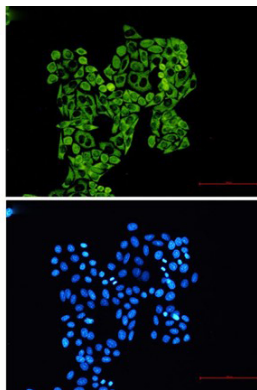
## 研究分野

-

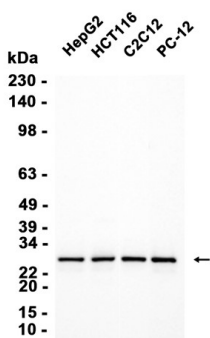
## 画像データ



RPS8抗体(1:1000希釈)を使用したHela、CHO-K1、C6、Jurkat細胞溶解物中のRPS8のウエスタンブロット検出。



AMRe87774抗体(緑)とDAPI(青)を使用したHeLa細胞の免疫蛍光分析。



AMRe87774を1:1000で使用して、HepG2、HCT116、C2C12、PC-12細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。

